

救急科後期研修プログラム

プログラムの目的と特徴

砂川市立病院救急科後期研修プログラムの目的は、初期研修を修了した医師（卒後3年目以降）に対して診断学・蘇生学・外傷学などの救急医学、総合診療を研修する。

ERにおける軽傷から重傷まで全ての救急患者の初期診療における知識・技能を身につける事ができる臨床経験だけでなく、ACLS・外傷初期診療（JATEC）などの救急医療・災害医療におけるコースを受講して、救急医療に関わる知識・技術・指導法を身につける。

地域医療を担う「Generalist」として、科の枠を超えた診療を行う医師としての能力を身につける。

研修方法

救急医（ER医）は、重症度・年齢・性別及び羅漢臓器によらず、全ての救急患者の診療を行う。

救急外来（ER）及びICU、HCUにおけるACLS・JATECなどに準じたプライマリケア、蘇生処置、多発外傷・熱傷、中毒、多臓器不全などの全身管理の必要な患者の蘇生及び治療などを学ぶ。

重症度・緊急度の判断をERにおいて救急搬送・Walk inの患者の診療から学び、重症患者管理をICU、HCUなどで学ぶ。

Sub Specialtyのため、内科・外科・整形外科・麻酔科などを選択して研修する。

研修目標

- 1） 1次から3次の救急患者に対応できる「ER型救命救急医」の役割を実践できる
- 2） 多発外傷、熱傷、中毒、蘇生後脳症など重症患者のICU管理ができる
- 3） 救急隊に対して適切なメディカル・コントロールを指示できる
- 4） 日本救急医学会救急科専門医資格の取得

ローテーション例（ご希望のローテーションを決めることができます。下記は一例です。）

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

1年目 (卒後3年目)	救 急 科	麻 酔 科	内科(総合)
2年目 (卒後4年目)	救 急 科		
3年目 (卒後5年目)	救 急 科	総 合 内 科 ・ 選 択 科	

選 択 科：内 科、循環器内科、小児科、外 科、整形外科、形成外科、脳神経外科、
心臓血管外科、産婦人科、麻酔科など希望に沿ってローテートできます。